

【平成 31 年度 入試制度の変更について (予告)】

教育情報学教育部と教育学研究科は平成 30 年 4 月に再編・統合し、新しい教育学研究科に生まれかわります。これに伴い、教育情報学教育部で実施していた入試制度を廃止し、平成 31 年 4 月入学者からは、新しい教育学研究科の入試制度によって入学者を選抜します。

新しい教育学研究科では、博士課程前期 2 年の課程及び博士課程後期 3 年の課程について、以下の選抜試験により入学者を選抜します。

	9 月実施	1 月実施
前期 2 年の課程	一般選抜	一般選抜
	社会人特別選抜	社会人特別選抜
	外国人留学生特別選抜	外国人留学生特別選抜
後期 3 年の課程		一般選抜
	社会人特別選抜	社会人特別選抜

**教育情報学教育部及び教育学研究科の再編について【設置計画申請中】**

東北大学大学院教育情報学教育部と大学院教育学研究科は、平成 30 (2018) 年 4 月開設に向けて、統合再編計画を申請中です。

現行の 1 研究科と 1 教育部を統合再編し、新たな教育学研究科の設置を計画しています。

現 行	平成 30 (2018) 年度以降 【設置計画申請中】						
<b>教育学研究科総合教育科学専攻</b> 博士課程前期募集人員 36 名 博士課程後期募集人員 16 名	<b>教育学研究科総合教育科学専攻</b> 博士課程前期募集人員 45 名 博士課程後期募集人員 15 名						
<b>教育学研究科教育設計評価専攻</b> 博士課程前期募集人員 7 名 博士課程後期募集人員 2 名	<table border="1"> <tr> <td>生涯教育科学コース</td> </tr> <tr> <td>教育政策科学コース</td> </tr> <tr> <td>グローバル共生教育論コース</td> </tr> <tr> <td>教育情報アセスメントコース</td> </tr> <tr> <td>教育心理学コース</td> </tr> <tr> <td>臨床心理学コース</td> </tr> </table>	生涯教育科学コース	教育政策科学コース	グローバル共生教育論コース	教育情報アセスメントコース	教育心理学コース	臨床心理学コース
生涯教育科学コース							
教育政策科学コース							
グローバル共生教育論コース							
教育情報アセスメントコース							
教育心理学コース							
臨床心理学コース							
<b>教育情報学教育部</b> 博士課程前期募集人員 12 名 博士課程後期募集人員 5 名							

\* 「総合教育科学専攻」に係る名称、募集人員等については予定であり、変更が生じる可能性があります。

\* 現行の教育情報学教育部及び教育設計評価専攻で取得できている教育職員免許状の教科 (領域) は、再編後変更になる可能性があります。

\* 設置計画に関する詳細は、随時、教育情報学研究部・教育部及び教育学研究科のウェブサイトに掲載します。

東北大学大学院教育情報学研究部・教育部 <https://www.ei.tohoku.ac.jp/>

東北大学大学院教育学研究科 <https://www.sed.tohoku.ac.jp/>

## 【合格者所属の変更（予定）】

平成29年度に実施される平成30年度東北大学大学院教育情報学教育部及び教育学研究科の入学試験は現行制度に基づき実施されますが、合格した者の所属研究科、専攻、コースは下記のような予定です。

### （1）教育情報学教育部における合格者の入学後の所属の変更について

従来は教育情報学教育部に所属していましたが、教育学研究科総合教育科学専攻教育情報アセスメントコースの所属になる予定です。

### （2）教育学研究科総合教育科学専攻における合格者の入学後の所属コースについて

受験する研究コースによって、入学後に所属するコースは以下のような予定です。

- 人間形成論研究コース合格者は、生涯教育科学コースの所属になる予定です。
- 教育政策科学研究コース合格者は、教育政策科学コースの所属になる予定です。
- 成人継続教育論研究コース合格者は、希望する学問分野に応じて生涯教育科学コースもしくはグローバル共生教育論コースの所属になる予定です。
- 教授学習科学研究コース合格者は、希望する学問分野に応じてグローバル共生教育論コース又は教育心理学コースの所属になる予定です。
- 人間発達研究コース合格者は、教育心理学コースの所属になる予定です。
- 臨床心理研究コース合格者は、臨床心理学コースの所属になる予定です。

### （3）教育学研究科教育設計評価専攻における合格者の入学後の所属の変更について

従来は教育学研究科教育設計評価専攻に所属していましたが、教育学研究科総合教育科学専攻教育情報アセスメントコース又は教育政策科学コースの所属になる予定です。

## 【新コースの紹介】

### 生涯教育科学コース

持続可能で公正な社会の形成に資するため、生涯にわたる人間形成と教育のあり方について、原理的、巨視的、社会的な視点から深く理解し、知識基盤社会、生涯学習社会に必要な洞察力、企画力、実践力を有する人材を育成する。

### 教育政策科学コース

教育社会学、教育行政学及び比較教育学の学問領域を「教育政策科学」という共通の枠組みのもとに統合した教育プログラムを提供することで、政治・経済・社会が複雑に絡み合う教育の諸問題の解決に求められる、幅広い視野からの課題発見能力、高度な分析能力及び批判的思考力をバランスよく備えた人材を育成する。

## グローバル共生教育論コース

グローバル化した経済・社会では、これまでの知識や価値観を伝達するような教育ではなく、価値観の異なる人々と協働しつつ、これまでの知識・技能を統合して「正解のない」新たな状況に対応できる人材が求められる。このような21世紀型学力においては、単に言語、情報リテラシーに長けているのではなく、課題状況の中で新たな学び方を自ら模索できる能力、異なる価値観の人々と協力してプロジェクトにあたる社会的スキル、それぞれの社会の文化や歴史に基盤を置きながら議論ができる能力を有する人材を育成する。

## 教育情報アセスメントコース

すべての人びとに開かれた学習機会を提供する課題に対応する新しい教育方法としてICT教育がある。ICT技術を駆使した教育プログラムの開発や運用を図る。日本社会の成熟化、少子化、価値の多元化が進む知識基盤時代の教育にふさわしい、学びのイノベーションを視野に入れつつ、アセスメントの基礎を固め、客観的なデータ・根拠にもとづいて教育を測定し、評価するために必要な個別専門的能力・スキル・知識を修得した人材を育成する。

## 教育心理学コース

教授・学習や人間発達のしくみ、ならびに発達途上の遅滞、悩み、障害について、心理学的な観点から多面的・多角的にとらえ、家庭や地域、学校や職場など生涯にわたっての発達や教授・学習場面における諸課題、ならびに発達障害などの特別な支援ニーズを抱える人々について、その理論および実際の心理的支援や教育的支援を実証的手法により開発できる人材、ならびにそれら心理専門職を養成する人材を育成する。

## 臨床心理学コース

子どもや成人をめぐる心理社会的問題を見ると、学校における不登校やいじめの問題、度重なる災害による問題、虐待やハラスメントなど家庭や組織での問題など様々な領域で、その深刻さを増しつつある。本コースでは、様々な領域において心理的問題を擁する方々やその家族に対する援助についての新たな知見を見出す研究者を育成し、また、相談や援助の業務に従事する公認心理師や臨床心理士の受験資格を取得し、心理専門職として、広く社会に貢献できる人材を養成する。

(2017年6月28日)